

農政環境

問 「袋井市明日の水田農業を考える会」が発足したが、農業経営のあり方や転作農家への支援対策など市農政への反映は。

答 本市の水田農業のあり方、米の生産調整の助成制度、支援策等を検討するため設立された「袋井市明日の水田農業を考える会」の検討



麦刈りの様子

結果を踏まえ、農業委員会に諮問した上で、本市の目指す水田農業の方針を確立していきたい。

問 農地を集積・集団化し、農業経営安定化、大型機械利用、就農者に魅力をもたせる方向性は。

答 県下でも第三位の高い集積面積を誇っており、なお一層の農地利用集積を推進し、意欲ある担い手農業者の規模拡大を支援していきたい。

問 耕畜連携で、小麦・大豆・お茶・野菜等の堆肥利用への支援は。

答 安全・安心志向が高まる中、有機肥料の利用は消費者の関心も高く、畜産農家や耕作農家にも一層の御理解をいただき、有機肥料の活用を図るようPRしたい。

総務文教委員会のレポート

袋井市総合計画の基本構想の本文中に「地域の力」ということばが出てくる。「地域の力」を地域資源に限定したような表現としているが、「地域の力」の意味は。

地域には、それぞれの単位や大きさがありますが、地域にある産業の力を初め、自然や歴史、伝統文化などの地域資源を、基本構想の中では「地域の力」と位置づけています。

今回、浅羽中学校屋内運動場改築工事契約の業者選定において、市外の業者が入札に参加しているがなぜか。

価格が1億5千万円以上の工事は、指名競争入札で

はなく制限付き一般競争入札となります。今回は、入札参加資格として静岡県の経営事項審査結果の総合数値が800点以上の業者を対象としました。このため、袋井土木事務所管内から広く応募していただき入札しました。



改築が行われる浅羽中学校の屋内運動場敷地